

2020 年度実施概要

学校名

三重高等学校

採択活動名

探究基礎 高校1年全員がまず学ぶ「海」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 探究基礎	1	生物基礎
2.		
3.		

取り組みの概要

近年、数理横断的なテーマに徹底的に向き合い考え抜く力を育成するため、大学入学者選抜の改革や「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」に向けた動きも踏まえつつ、数学と理科の知識や技能を総合的に活用して主体的な探究活動を行う新たな選択科目の設置を検討されている。

現在、我が国は様々な課題に直面しており、これらの解決手段としてイノベーションに大きな期待が寄せられているが、研究者には、深い知的好奇心や自発的な研究態度、自ら課題を発見したり未知のものに挑戦したりする態度が求められている。また、革新的な価値は、多様な学問分野の知の統合により生まれることが多く、従来の慣習や常識にとらわれない柔軟な思考と斬新な発想によってもたらされるものである。

本校は令和5年度の新教育課程より週一回の探究の時間を設けるが、今のところ慣れている教員も少なく、理科が先行的に学年1年全てについて生物基礎を活用して実施することとした。

*探究の基礎 東京書籍生物基礎の教科書の4ページを利用し、要約をする。海・探究に関する基礎知識のアンケート。各自のまとめたものや意見の共有

*海にどれぐらいの塩化ナトリウムが溶けているかを明らかにする方法を考える。1. 実験の概要 2. 論文形式で作成する。適宜、周りとのディスカッション。

*実験書を作成し、実験を行う。適宜、周りとのディスカッション。

*レポートの作成および発表。適宜、周りとのディスカッション。アンケート調査、各自ループリック評価を行った。

その他、クラブ活動として、データサイエンスに関する基礎を学んだり、専門家と海に関するディスカッションも行った。

海辺つくり会議様、アマモサミット様、日本科学技術振興機構様、東京大学海洋アライアンス様にオンラインですが発表の機会をいただきました。ありがとうございました。



活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)